

無線LAN中継機

WEX-300

エアステーション設定ガイド

buffalo.jp

35020457-01
2014-04

目次

第1章 はじめに	6
操作方法について.....	6
電波に関する注意.....	6
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意 ...	7
動作環境.....	8
エアステーション設定ツールのご紹介.....	9
第2章 本製品の設定画面	10
設定画面とは.....	10
設定画面を表示する.....	10
Windows 8.1/8/7/Vista/XPをお使いの場合.....	10
Mac OSをお使いの場合.....	13
トップ画面.....	16
LAN設定.....	17
LAN.....	17
経路情報.....	18
無線設定.....	19
AOSS.....	19
基本.....	21
拡張.....	23
WMM.....	24
MACフィルター.....	26
WDS.....	27

管理設定.....	29
本体	29
パスワード	29
時刻	30
NTP	30
エコ	31
アクセス.....	33
ログ	34
保存/復元	34
初期化/再起動	35
ファーム更新	35
ステータス.....	36
システム.....	36
ログ	37
通信パケット	37
クライアントモニター	38
診断	38

第3章 本製品の各種設定 39

各種設定を行う前に	39
無線で通信できる範囲を拡張する（中継機設定）	40
AOSS/WPSでの設定手順（ローミングを行う）	40
手動での設定手順（ローミングを行わない）	42
本製品の接続先を変更する	44
節電機能を使って節電する	45
AOSS接続で設定された内容を確認する	47
AOSS接続を解除する	48

他の無線機器から本製品を検索できなくする（ANY接続拒否設定）	49
アクセス可能な端末を制限する（MACアクセス制限）	50
親機のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する	50
親機－端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する	53
無線端末同士の通信を禁止する（プライバシーセパレーター）	54
WEP 接続の端末からのアクセスを制限する（隔離機能）	55
本製品のIPアドレスを変更する	56
Windows 8.1/8/7/Vista/XPをお使いの場合	56
Mac OSをお使いの場合	60
本製品のファームウェアバージョンを確認する	63

第4章 困ったときは

前面のPOWER/DIAGランプが周期的に赤色に点滅している	64
無線接続が切れる/不安定	64
無線でつながらない	65
設定画面が表示できない	66
無線での通信が遅い	67
設定を出荷時の状態に戻したい	67

第5章 付録

製品仕様	68
LAN端子仕様	69
初期設定一覧	70

IPアドレスの固定方法	72
Windows 8.1/8の場合	72
Windows 7の場合	73
Windows Vistaの場合	74
Windows XPの場合	75
Mac OSの場合	76
著作権・免責事項	77

第1章 はじめに

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4 GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALOサポートセンター」までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）

「無線LANのセキュリティに関するガイドライン」より

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応機器・対応OS

<本製品との無線接続>

無線LAN機能に対応したルーター、アクセスポイント、
無線LAN機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など

<本製品の設定変更>

Internet Explorer 7.0以降を搭載したWindows 8.1^{※1}/8^{※1}/7^{※1}/Vista^{※1}/XP^{※2}パソコン、
Safari 3.0以降を搭載したMac OS（10.5/10.6/10.7/10.8）、
iOS 3以降のiPod touch^{※3} / iPhone^{※3} / iPad^{※3}、
Android 2.1以降のスマートフォン^{※3}、タブレット端末^{※3}

※1 64ビットと32ビットに対応しています。

※2 32ビット、かつサービスパック3に対応しています。

※3 標準搭載のWebブラウザを使った初期設定（インターネット接続設定）のみの対応となります。
本製品の詳細設定には対応しておりません。

<エアステーション設定ツール>

Windows 8.1（64ビット/32ビット）、Windows 8（64ビット/32ビット）、
Windows 7（64ビット/32ビット）、Windows Vista（64ビット/32ビット）、Windows XP（32ビット）、
Mac OS（10.4/10.5/10.6/10.7/10.8）

エアステーション設定ツールのご紹介

エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面をかんたんに表示するためのソフトウェアです。本製品とパソコンを接続してエアステーション設定ツールを実行すると、本製品の設定画面を表示したり、本製品のIPアドレスを変更することができます。



第2章 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

設定画面とは

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

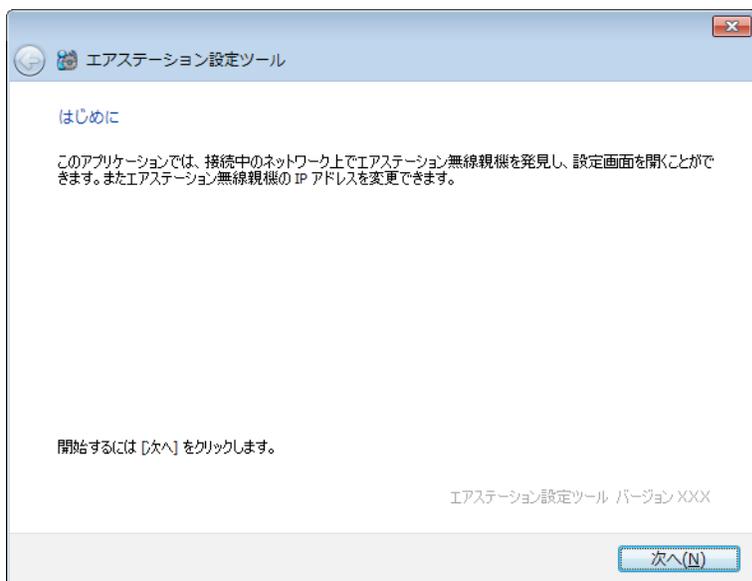
設定画面を表示する

Windows 8.1/8/7/Vista/XPをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って、設定画面を表示します。

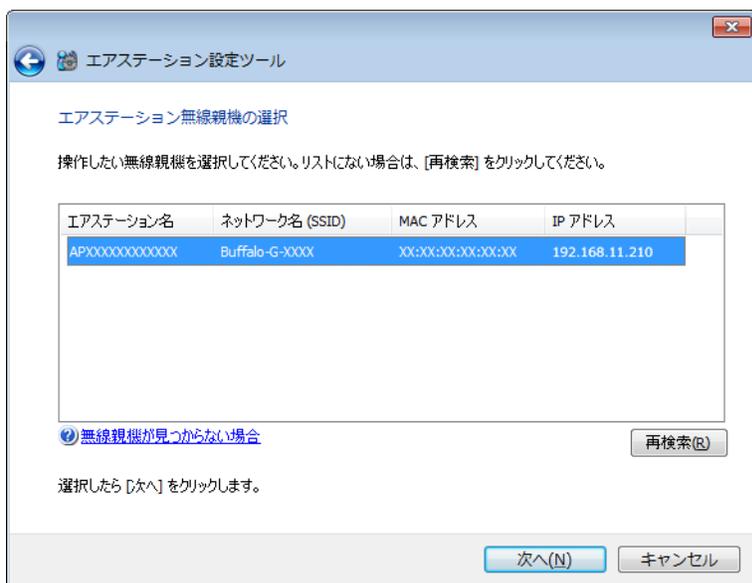
「エアステーション設定ツールは」、当社ホームページ (<http://d.buffalo.jp/wex-300/>) からダウンロードできます。Windowsをお使いの場合は、事前にインストールを行っておいてください。

- 1** 設定用パソコンと本製品を接続します。
有線で接続する場合は、パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
無線で接続する場合は、パソコンの取扱説明書を参照して、本製品に接続してください。
(無線接続に必要なSSID、暗号化キーは、本製品底面のラベルを参照してください)
- 2** エアステーション設定ツールを起動します。
Windows 8.1/8の場合は、「スタート」画面にある [エアステーション設定ツール] を選択します。
Windows 7/Vista/XPの場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [BUFFALO] - [エアステーションユーティリティ] - [エアステーション設定ツール] を選択します
- 3** [次へ] をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続が重なっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから [再実行] をクリックしてください。

- 4 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ] をクリックします。



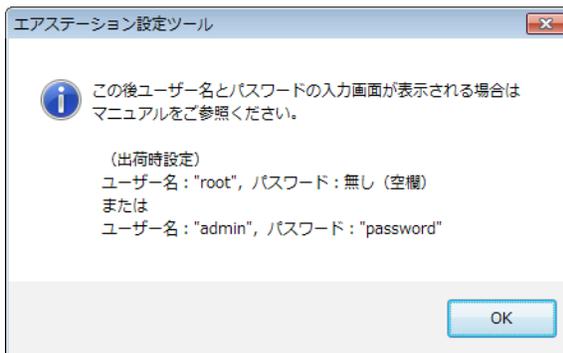
メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

- 5 [設定画面を開く] をクリックします。

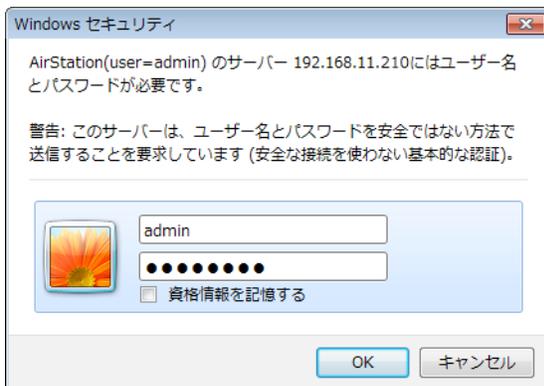


メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。その場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」を選択して [次へ] をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順7の画面が表示されません。

6 [OK] をクリックします。



7 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[OK] をクリックします。(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)



8 本製品の設定画面が表示されます。設定画面で各種設定を行ってください。

メモ:

- 各種設定例は、本書の第3章を参照してください。

Mac OSをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って設定画面を表示します。

「エアステーション設定ツール」は、当社ホームページ (<http://d.buffalo.jp/wex-300/>) からダウンロードできます。

ここでは、Mac OS 10.8の場合を例に説明します。

- 1** 設定用パソコンと本製品を接続します。
有線で接続する場合は、パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。
無線で接続する場合は、パソコンの取扱説明書を参照して、本製品に接続してください。
(無線接続に必要なSSID、暗号化キーは、本製品底面のラベルを参照してください)
- 2** エアステーション設定ツールを実行します。
- 3** [続ける] をクリックします。



- 4** 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける] をクリックします。



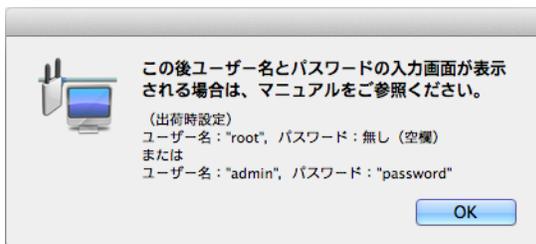
メモ: 本製品のMACアドレスは、本体のラベルで確認できます。

5 [設定画面を開く] をクリックします。

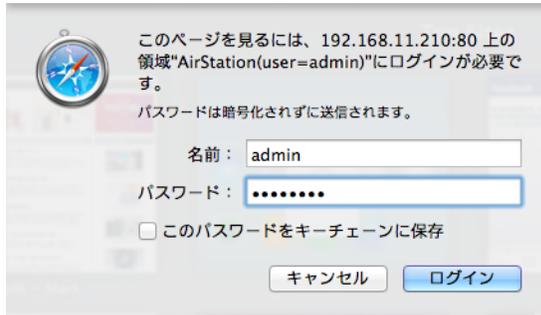


メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「このMacのIPアドレス設定」という画面が表示されます。その場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」を選択して [次へ] をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

6 [OK] をクリックします。



7 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[ログイン] をクリックします。(パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)



8 本製品の設定画面が表示されます。

メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[終了] をクリックして、画面を閉じてください。

トップ画面

ログインすると最初に表示される画面です。本製品のSSIDや暗号化方式などを確認することができます。



パラメーター	内容
LAN設定	LANポートに関する設定画面を表示します。
無線設定	無線LANに関する設定画面を表示します。
管理設定	本製品の管理に関する設定画面を表示します。
ステータス	本製品のステータス情報を表示します。
かんたん設定	ファームウェアの更新や本製品の初期化などの設定をかんたんに行うことができます。
無線情報	本製品のSSIDや暗号化方式などが表示されます。
エコモード	現在の節電機能の状態が表示されます。

LAN設定

LAN

LAN側ポートの設定を行う画面です。

---> LAN設定 - LAN

LAN側IPアドレス	<input type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
	<input checked="" type="radio"/> 自分で設定を行う
	IPアドレス <input type="text" value="192.168.11.210"/> サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.0"/>

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: <input type="text"/>
	セカンダリー: <input type="text"/>

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS (ネーム) サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを設定します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。

---> LAN設定 - 経路情報

経路の新規追加

宛先アドレス	IPアドレス	<input type="text"/>
	サブネットマスク	255.255.255.0 <input type="button" value="v"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>	
メトリック	15 <input type="text"/>	

新規追加

経路情報

宛先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	操作
経路情報はありません				

パラメーター	内容
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定します。
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック（宛先アドレスまでに越えるルーター数）を設定します。
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。

AOSS

AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

---> 無線設定 - AOSS



AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11n/g/b 停止
WEP専用SSID隔離	802.11n/g/b 無効 本機能を有効にする場合は、デフォルトゲートウェイを設定してください。 *デフォルトゲートウェイを設定しないと、インターネット接続ができなくなりますので、ご注意ください。

現在のセキュリティ情報 802.11n/g/b

対応暗号化方式	WPAWPA2 mixed mode - PSK(AES) (現在使用中)
SSID	Buffalo-G-XXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXX

対応暗号化方式	WEP128
SSID	Buffalo-G-XXXX_1
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX (送信キー)
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

対応暗号化方式	WEP64
SSID	Buffalo-G-XXXX_2
暗号化キー	XXXXXXXXXX (送信キー)
	XXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXX

ランダム KEYベース 元に戻す

設定

AOSS接続先情報

接続先情報 MACアドレス 対応暗号化方式 無線 接続設定

AOSS接続先情報の編集

パラメーター	内容
	<p>このボタンをクリックするとAOSS接続が解除され、AOSSの接続設定が削除されます。（その際、SSIDや暗号化キーもAOSSを使用する前の値に戻ります）</p> <p>メモ: AOSSを使わずに本製品を親機に接続する際、このボタンが表示されている場合は、必ずクリックして、AOSS接続先情報を削除してください。</p>

パラメーター	内容
WEP専用SSIDの暗号化レベル	<p>AOSSによって、無線LANのセキュリティーがWEPになる場合、WEP128にするのか、WEP64にするのかを選択します。「停止」を選択すると、AOSSによるWEP接続はできなくなります。</p> <p>メモ: 設定を変更すると、本製品に接続している端末との接続がいったん切断されます。</p>
WEP専用SSID隔離	<p>設定を有効にすると、WEPで接続した端末（ゲーム機など）は、インターネットにのみ接続可能となり、WPA（またはWPA2）で接続している各端末とは通信できなくなります。</p>
現在のセキュリティー情報	<p>親機とのAOSS接続時に設定された暗号化レベルとセキュリティー情報の詳細が表示されます。</p> <p>暗号化レベル AOSS接続時に設定された暗号化のレベルが表示されます。現在有効になっている暗号化レベルには、「現在使用中」と表示されます。</p> <p>SSID AOSS接続時に設定されたSSIDが表示されます。</p> <p>暗号化キー AOSS接続時に設定された暗号化キーが表示されます。</p> <p>ランダム クリックすると、各種SSIDや暗号化キーの入力欄に16進数を用いてランダムな値が生成されます。</p> <p>KEYベース クリックすると、各種SSID・暗号化キーの入力欄に本製品の無線設定初期値を元にした値が生成されます。</p> <p>元に戻す クリックすると、各種SSID・暗号化キーの入力欄が修正前の状態に戻ります。</p>
AOSS接続先情報	<p>本製品と親機をAOSS接続している場合に、本製品や親機に接続されている端末の情報（機器名/MACアドレス/対応暗号化方式/無線方式/接続設定）が表示されます。</p> <p>メモ: [AOSS接続先情報の編集] をクリックすると、AOSS接続先情報の編集画面（接続禁止/情報削除）が表示されます。</p>

基本

無線の基本的な設定を行う画面です。

---> 無線設定 — 基本

無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 3)
倍速モード	帯域: 20 MHz 拡張チャンネル: チャンネル 2
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES
WPA-PSK(事前共有キー)	●●●●●●●●●●
SSID2:WEP	<input type="checkbox"/> 使用する
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Buffalo-G-XXXX_1) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
WEP暗号化キー設定	文字入力: 13文字(WEP128) <input checked="" type="radio"/> 1: <input type="text"/> <input type="radio"/> 2: <input type="text"/> <input type="radio"/> 3: <input type="text"/> <input type="radio"/> 4: <input type="text"/>
Key更新間隔	60 分
<input type="button" value="設定"/>	

パラメーター	内容
無線チャンネル	本製品とパソコンなどの端末を無線で接続する際に使用するチャンネル（周波数帯）を設定します。「自動」を選択すると、自動的に最適なチャンネルが設定されます。 メモ: 本製品を親機に接続している場合は、親機のチャンネル設定を引き継ぐため、ここでは設定は変更できません。
倍速モード	本製品とパソコンなどの端末を無線で接続する際に、倍速モード（高速無線通信）を行うかどうかを設定します。倍速モードを使用する場合は、帯域を40MHzに設定し、拡張チャンネルを設定します。 メモ: 本製品を親機に接続している場合は、親機の倍速モード設定を引き継ぐため、ここでは設定は変更できません。
ANY接続	チェックマークを外すと、端末からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
SSID1	本製品のメインSSIDです。 無線セキュリティーに、WPA2-PSK-AES、WPA-PSK-AES、WPA/WPA2-mixedmode-PSK-AES、WEP、暗号化なしを選択することができます。
SSID2 : WEP	本製品のサブSSIDです。 無線セキュリティーにWEPを選択することができます。
隔離機能	設定を有効にすると、無線接続している端末はインターネット側とだけ通信可能になります。

パラメーター	内容
SSID	SSIDを半角英数字記号で32文字までで設定します。
無線の認証	<p>端末との無線接続の際に使用する認証方式を以下から選択します。</p> <p>認証を行わない 端末との無線接続の際に認証を行いません。</p> <p>WPA-PSK 端末との無線接続の際にWPA（Wi-Fi Protected Access）に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>WPA2-PSK 端末との無線接続の際にWPA2（IEEE802.11i）に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p> <p>WPA/WPA2 mixedmode-PSK 端末との無線接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの認証も同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。</p>
無線の暗号化	<p>無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>WEP WEP暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して端末と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>AES 暗号化の方式にAES（強固な次世代暗号化方式）を使用します。事前共有キーを使用して端末と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字/小文字の区別あり）を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f（大文字/小文字の区別なし）の10桁または26桁で入力します。</p>
WPA-PSK（事前共有キー）	<p>端末との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字/小文字の区別あり）を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f（大文字/小文字の区別なし）の64桁で入力します。</p>
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0～1440分の範囲で設定します。

拡張

無線の拡張設定を行う画面です。

---> 無線設定 - 拡張

Multicast Rate	1 Mbps ▼
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input type="checkbox"/> 使用する

設定

パラメーター	内容
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
DTIM Period	無線接続している端末に通知するビーコン応答間隔（1～10）の設定をします。端末のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
プライバシーセパレーター	無線接続している端末間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、本製品に無線接続している端末同士の通信ができなくなります。 有線側からは、無線接続している端末と通信できます。

WMM

本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。

---> 無線設定 - WMM

WMM-EDCAパラメーター

優先度	パラメーター	AP用	STA用
AC_BK(低い)	CWmin :	15	15
	CWmax :	1023	1023
	AIFSN:	7	7
	TXOP Limit:	0	0
AC_BE(通常)	CWmin :	15	15
	CWmax :	63	1023
	AIFSN:	3	3
	TXOP Limit:	0	0
AC_VI(優先)	CWmin :	7	7
	CWmax :	15	15
	AIFSN:	1	2
	TXOP Limit:	94	94
AC_VO(最優先)	CWmin :	3	3
	CWmax :	7	7
	AIFSN:	1	2
	TXOP Limit:	47	47

設定

パラメーター	内容
<p>WMM-EDCA パラメーター</p>	<p>一般的な使い方では、この値を変更する必要はありません。出荷時設定のままお使いください。</p> <p>優先度 優先度は、通信パケットごとに適用され、(Highest) 8 : (High) 4 : (Normal) 2 : (Low) 1 の割合で優先的に処理されます。</p> <p>CWmin, CWmax コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウはIEEE802.11で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。</p> <p>AIFSN フレーム送信間隔です。単位はスロット(CWmin, CWmaxで定義されるウィンドウ値と同様)です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。</p> <p>TXOP Limit キューが送信権を得た場合に占有できる時間を示します。1単位は32msです。この時間が長いほど一度得た送信権でより多くのフレームを転送することができますが、反面キューのリアルタイム性を損なうことになります。TXOP Limitを0に設定した場合は、1回の送信権で1つのフレームのみ送信できます。</p>

MACフィルター

無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

---> 無線設定 - MACフィルター

無線パソコンの接続 制限する

設定

登録リスト

MACアドレス 接続状態

MACアドレスが登録されていません

登録リストの編集

パラメーター	内容
無線パソコンの接続	端末からの接続を制限するかどうかを設定します。
登録リスト	MACアクセス制限で、接続を許可する端末のMACアドレスが表示されます。 MACアドレスの登録は、[登録リストの編集] をクリックして行います。 MACアドレス MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。 接続状態 リストに登録した端末が、現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。
登録するMACアドレス	接続を許可する端末のMACアドレスを入力します。 [新規追加] をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。
登録リスト	登録したMACアドレスに対して、編集を行うことができます。 MACアドレス リストに登録した端末のMACアドレスが表示されます。 操作 [修正] をクリックすると、登録したMACアドレスを修正できます。 [情報削除] をクリックすると、登録したMACアドレスが削除されます。

パラメーター	内容
検出された無線パソコン一覧	<p>本製品に無線接続している端末のMACアドレスをリストに登録することができます。</p> <p>MACアドレス 本製品に無線接続している端末のMACアドレスが表示されます。</p> <p>操作 [新規追加] をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。 [現在の状態を表示] をクリックすると、現在の状態が表示されます。</p>

WDS

本製品と親機の接続設定を行う画面です。

---> 無線設定 - WDS

接続方法	手動設定	▼
接続状態		
SSID	<input type="text"/>	検索
認証方式	認証を行わない ▼	
暗号化	暗号化なし ▼	
設定		

パラメーター	内容
接続方法	<p>接続先への接続方法を選択します。</p> <p>手動設定 接続先の親機を検索し、親機に設定されている暗号化キーを入力して接続します。</p> <p>AOSS 接続先の親機がAOSSに対応している場合、接続先のAOSSボタンと、本製品の設定画面に表示されるボタンを押して接続を行います。</p> <p>WPS 接続先の親機がWPSに対応している場合、接続先のWPSボタンと、本製品の設定画面に表示されるボタンを押して接続を行います。</p>
接続状態	親機との接続状態を表示します。
SSID	<p>接続方法で「手動設定」を選択した場合、接続先の親機のSSIDを入力します。</p> <p>[検索] をクリックすると、周囲の親機のSSIDを検索することができます。</p>

パラメーター	内容
認証方式	<p>接続方法で「手動設定」を選択した場合、接続先の親機の認証方式を選択します。</p> <p>認証を行わない 接続先が認証を行わない設定の場合に選択します。</p> <p>WPA-PSK 接続先の認証方式がWPA-PSKの場合に選択します。</p> <p>WPA2-PSK 接続先の認証方式がWPA2-PSKの場合に選択します。</p>
暗号化	<p>接続方法で「手動設定」を選択した場合、接続先の暗号化方式を選択します。</p> <p>暗号化なし 接続先に暗号化の設定がされていない場合に選択します。</p> <p>WEP 接続先の暗号化方式がWEPの場合に選択します。</p> <p>AES 接続先の暗号化方式がAESの場合に選択します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>接続先の暗号化キーを入力します。</p> <p>文字列入力の場合、半角英数字（大文字/小文字の区別あり）を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f（大文字/小文字の区別なし）の10桁または26桁で入力します。</p>
WPA-PSK（事前共有キー）	<p>接続先の暗号化キーを入力します。</p> <p>文字列入力の場合、半角英数字（大文字/小文字の区別あり）を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f（大文字/小文字の区別なし）の64桁で入力します。</p>

管理設定

本体

本製品の名称を設定する画面です。

---> 管理設定 - 本体

エアステーション名	APXXXXXXXXXXXXXX
<input type="button" value="設定"/>	

パラメーター	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。

パスワード

本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

---> 管理設定 - パスワード

管理ユーザー名	admin (変更することできません)
管理パスワード	<input type="password" value="....."/> <input type="password" value="....."/> (確認用)
<input type="button" value="設定"/>	

パラメーター	内容
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。

時刻

本製品の内部時計を設定する画面です。

---> 管理設定 - 時刻

NTP機能使用中のため、設定値は書き換えられる可能性があります。

日付	2013年4月29日
時刻	10時54分14秒
タイムゾーン	(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル
設定	現在の状態を表示
現在のアクセス中のパソコンから時刻を取得	

パラメーター	内容
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン（グリニッジ標準時からの時差）を指定します。

NTP

本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。

---> 管理設定 - NTP

NTP機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
NTPサーバー	ntp.jst.mfeed.ad.jp
確認時間	24 時間毎
設定	

パラメーター	内容
NTP機能	本製品の内部時計をNTPサーバーを使って設定するかどうかを指定します。
NTPサーバー	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期（1～24時間毎）を設定します。

エコ

本製品の節電機能の設定を行う画面です。

---> 管理設定 - エコ

スケジュール 使用する

設定

週間スケジュール

	00	02	04	06	08	10	12	14	16	18	20	22
日												
月												
火												
水												
木												
金												
土												

通常動作 スリープ ユーザー定義

スケジュール登録	動作モード	通常動作
	開始時間	0:00
	終了時間	0:30
	曜日	<input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土

新規追加

ユーザー定義モード	ランプ	オフ
	有線ポート	エコ(低速動作)

設定

パラメーター	内容
スケジュール	あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、節電機能を使用するかどうかを設定します。 節電機能を使用するには、「使用する」を選択する必要があります。
週間スケジュール	「スケジュール登録」で設定したスケジュールが表示されます。

パラメーター	内容
スケジュール登録	<p>節電の開始/終了スケジュールを設定します。スケジュールは、「動作モード」、「開始時間」、「終了時間」、「曜日」を組み合わせで設定します。</p> <p>メモ:動作モードでスリープを設定している時間内でも、AOSSボタンを5秒間押すことでスリープから復帰することができます。</p> <p>動作モード 節電時の動作モードを設定します。 通常動作の場合、省電力機能を使用せず動作します。 ユーザ定義の場合、「ユーザ定義モード」で設定した動作を行います。</p> <p>開始時間 節電時の開始時間を0:00～23:30まで30分単位で設定します。</p> <p>終了時間 節電時の終了時間を0:30～24:00まで30分単位で設定します。</p> <p>曜日 節電を実行する曜日を設定します。</p>
ユーザー定義モード	<p>節電の内容を細かく指定したい場合に設定します。ユーザ定義モードは、「ランプ」、「有線ポート」を組み合わせで設定します。</p> <p>ランプ 節電時のランプの動作を設定します。 通常動作の場合、ランプが点灯します。 オフの場合、ランプがOFFになります。</p> <p>有線ポート 節電時の有線ポートの動作を設定します。 通常動作の場合、最大100 Mbpsで通信を行います。 エコ（低速動作）の場合、最大通信速度が10 Mbps自動で動作します。</p>

アクセス

本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

---> 管理設定 - アクセス

ログ出力 使用する

使用する	管理アクセス	パケット数
<input type="checkbox"/>	無線LANからの設定を禁止する	0
<input type="checkbox"/>	有線LANからの設定を禁止する	0

設定

パラメーター	内容
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。
無線LANからの設定を禁止する	本製品に無線接続された端末から、本製品の設定をできないように制限します。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLANポートに接続している端末から、本製品の設定ができないように制限します。 本製品を親機に接続している場合は、親機に接続している端末全般から本製品の設定ができなくなります。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

---> 管理設定 - ログ

ログ情報転送機能	<input type="checkbox"/> 使用する	
syslogサーバー	<input type="text"/>	
転送するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS	<input checked="" type="checkbox"/> 無線LAN子機
	<input checked="" type="checkbox"/> 認証	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更
	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="全選択"/> <input type="button" value="全解除"/>		

パラメーター	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。

保存/復元

本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。

---> 管理設定 - 保存/復元

現在の設定の保存	<input type="button" value="保存"/>
	<input type="checkbox"/> 設定情報ファイルをパスワードで暗号化する

保存した設定の復元	設定ファイル <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
	<input type="button" value="復元"/>
	<input type="checkbox"/> 設定ファイルの復元にパスワードが必要

パラメーター	内容
現在の設定の保存	[保存] をクリックすると、本製品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルにパスワードをつけて保存します。
保存した設定の復元	[参照] で設定ファイルを指定して [復元] をクリックすると、保存された設定ファイルから、本製品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけて、パスワードを入力してください。

初期化/再起動

本製品を初期化したり、再起動するための画面です。

---> 管理設定 - 初期化/再起動

再起動	エアステーションを再起動します。
	<input type="button" value="再起動"/>

設定初期化	エアステーションの設定を初期化し、再起動します。
	<input type="button" value="設定初期化"/>

パラメーター	内容
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本製品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

---> 管理設定 - ファーム更新

ファームウェアバージョン	WEX-300 Ver.X.XX(RX.XX/EX.XX)
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>

※ファームウェアファイルは下のリンクから取得できます。
[ダウンロードサービス](#)

パラメーター	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	ファームウェアの更新方法を設定します。 ローカルファイル指定 パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。 自動更新 (オンラインバージョンアップ) インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルを取得して更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。

ステータス

システム

本製品の名称を設定する画面です。

---> ステータス - システム

製品名	WEX-300 Ver.X.XX(RX.XX/BX.XX)	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX	
LAN	IPアドレス取得方法	手動設定
	IPアドレス	192.168.11.210
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	未設定
MTU値	1500	
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
無線(802.11n/g/b)	無線状態	有効
	SSID1	Buffalo-G-XXXX
	認証方式	WPA2-PSK
	暗号化	AES
	ANY接続	許可する
	ブライパシーセパレーター	使用しない
無線チャンネル	10(自動設定)	
倍速モード	20 MHz	
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX	
WDS	状態	無効
エコモード	状態	スケジュール機能無効

現在の状態を表示

パラメーター	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エアステーション名	エアステーション名が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。
無線	無線LANポートの情報が表示されます。
WDS	本製品のWDSに関する情報が表示されます。
エコモード	節電の状態が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

---> ステータス - ログ

表示するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> AOSS	<input checked="" type="checkbox"/> 無線LAN子機
	<input checked="" type="checkbox"/> 認証方式	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更
	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク	

表示 全選択 全解除

ログ

ファイル(logfile.log)に保存する 消去

日付時刻	種類	ログ内容
Jan 1 00:00:11	WIRED	Port 4 Link UP !!
Jan 1 00:00:00	BOOT	Boot up successfully!!

パラメーター	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

---> ステータス - 通信パケット

インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	0	0	0	0
LAN側無線(802.11n/g/b)	8323	0	7367	0

現在の状態を表示

パラメーター	内容
送信パケット数	LAN側有線、LAN側無線に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	LAN側有線、LAN側無線から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

クライアントモニター

本製品と通信している機器を確認する画面です。

---> ステータス - クライアントモニター

MACアドレス	通信方式	無線の認証	802.11n
XXXXXXXXXXXX	無線	認証済み	有効

現在の状態を表示

パラメーター	内容
クライアントモニター	本製品と通信している端末の情報（MACアドレス、通信方式、無線認証、802.11n）が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上の他の端末との接続確認を行う画面です。

---> ステータス - 診断

宛先アドレス

実行

実行結果

宛先	192.168.11.1
実行結果	64 bytes from 192.168.11.1: seq=0 ttl=255 time=0.921 ms 64 bytes from 192.168.11.1: seq=1 ttl=255 time=0.771 ms 64 bytes from 192.168.11.1: seq=2 ttl=255 time=0.766 ms

パラメーター	内容
宛先アドレス	接続確認を行う端末のIPアドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

第3章 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

各種設定を行う前に

本章で紹介する各種設定を行う前に、以下の手順で本製品のIPアドレスとデフォルトゲートウェイ、DNS（ネーム）サーバーアドレスの設定を必ず行ってください。これらの設定を行わないと、本製品の節電機能や隔離機能などが動作しない場合があります。

メモ: これらの設定には、ご使用中のルーター（ルーター内蔵モデムを含む）やCTUのIPアドレスの情報が必要です。設定の前に控えておいてください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 [LAN設定] - [LAN] をクリックします。



3 各種設定を行い、[設定] をクリックします。

LAN側IPアドレス	<input type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
	<input checked="" type="radio"/> 自分で設定を行う
	IPアドレス: 192.168.11.210 サブネットマスク: 255.255.255.0

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: <input type="text"/>
	セカンダリー: <input type="text"/>

[設定]

- 「LAN側IPアドレス」は、ご使用中のルーターやCTUと同じIPセグメントになるように設定してください。どのように設定していいかわからない場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得」を選択してください。
- 「LAN側IPアドレス」でIPアドレスを入力した場合は、続けて「デフォルトゲートウェイ」と「DNS（ネーム）サーバーアドレス」を設定します。ご使用中のルーターやCTUのIPアドレスを入力してください。
「LAN側IPアドレス」で「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得」を選択した場合は、「デフォルトゲートウェイ」と「DNS（ネーム）サーバーアドレス」の入力は不要です。
- すべて設定できたら [設定] をクリックします。

以上で設定は完了です。

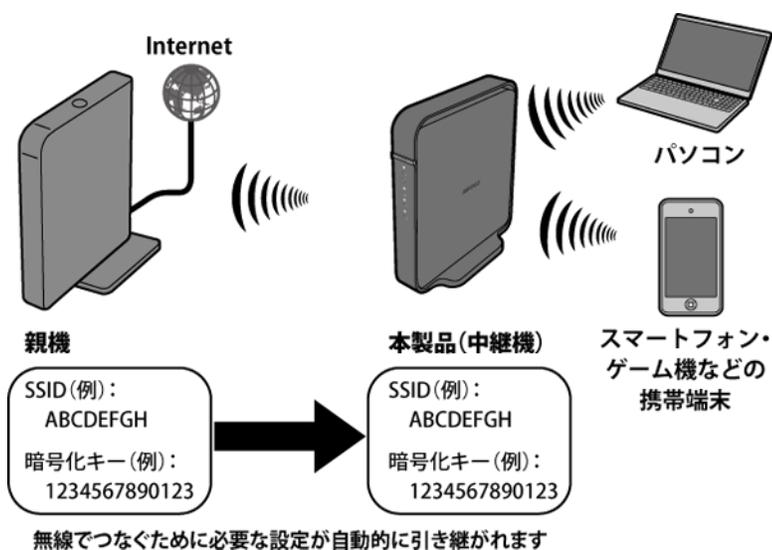
無線で通信できる範囲を拡張する（中継機設定）

通信環境に障害物があると、電波が届きにくくなったり、通信速度が低下することがあります。中継機能を使用すると、本製品を介して電波が届くため、障害物を回避し安定した通信を行うことができます。

AOSS/WPSでの設定手順（ローミングを行う）

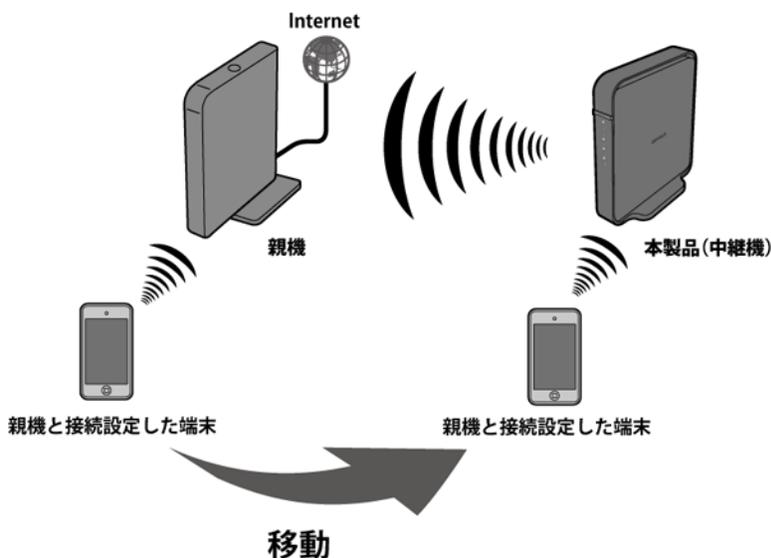
AOSS/WPSを使用して中継機設定を行う手順を説明します。

ご利用イメージ



この手順で設定を行うと、本製品は親機の設定（SSIDや暗号化キー）を引き継ぐため、ご利用中の端末の設定を変更することなくお使いいただけます。その場合、[無線設定] - [基本] 画面に表示されているSSIDや暗号化キーは使用されません。

メモ: 中継機の設定を行った後に、親機と接続設定した端末を中継機の近くに移動した場合、端末は親機から本製品へ自動的に接続を切り替え（ローミングを行います）。自動的に切り替えるタイミングは、接続する端末の仕様によって異なる場合があります。



設定手順

ここでは、設定画面から中継機設定を行う手順を説明します。本製品本体上のAOSSボタンを使用して設定する手順は、本製品添付の「設置・初期設定ガイド」をご確認ください。

メモ: MACアクセス制限を設定している親機とWPS接続を行う場合、本製品の無線MACアドレスを親機に登録してから以下の設定を行ってください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 [無線設定] - [WDS] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b) 拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター	WDS
				マニュアルアプリ ログアウト

3 接続方法に「AOSS」または「WPS」を選択します。

メモ: お使いの親機が当社製の場合は「AOSS」を、他社製の場合は「WPS」を選択してください。

4 画面上に表示されているAOSSボタンまたはWPSボタンをクリックします。



WDSモードでのAOSS接続を開始



エアステーション間通信のWPS接続を開始する

5 接続先の親機のAOSSボタンまたはWPSボタンを押します。

6 約2分後、本製品のワイヤレスランプが2回周期で点滅 → 点灯 に変われば、接続は成功です。

メモ: ワイヤレスランプが連続点滅している場合は、手順4、5をもう一度行ってください。

以上で設定は完了です。

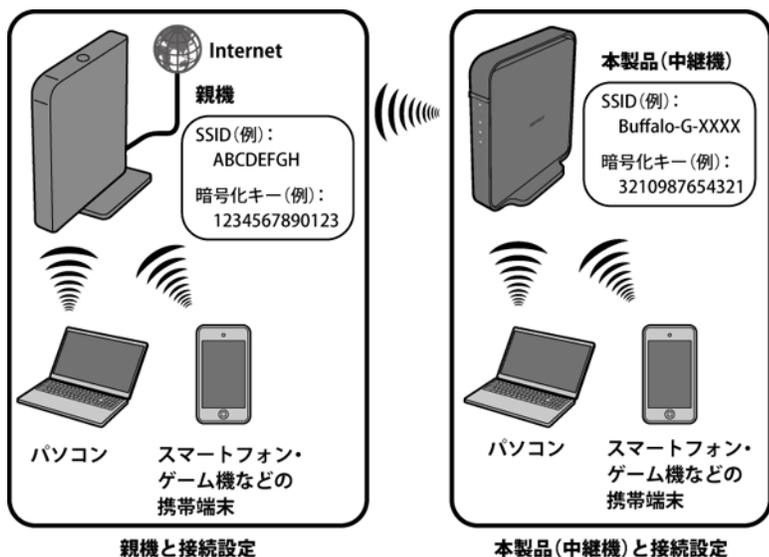
接続する端末を追加する場合

親機の取扱説明書を参照し、親機と端末の接続設定を行ってください。
親機との接続設定を行うと、自動的に本製品とも接続できるようになります。

手動での設定手順（ローミングを行わない）

手動で中継機設定を行う手順を説明します。

ご利用イメージ



この手順で設定を行うと、本製品は親機の設定（SSIDや暗号化キー）を引き継がないため、親機と接続してご利用中の端末を本製品と接続するには、本製品との接続設定を別途行う必要があります。その場合、[無線設定] - [基本] 画面に表示されているSSIDや暗号化キーを使用します。

設定手順

メモ: MACアクセス制限を設定している親機と手動接続を行う場合、本製品の無線MACアドレスを親機に登録してから以下の設定を行ってください。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 [無線設定] - [WDS] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b) 拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MAGフィルター	WDS
				マニュアル/アプリ ログアウト

- 3 接続方法に「手動設定」を選択します。
- 4 [検索] をクリックします。

SSID	<input type="text"/>	検索
認証方式	認証を行わない ▼	
暗号化	暗号化なし ▼	

設定

5 接続先の親機のSSIDを選択し、[選択] をクリックします。

接続するエーステーション(親機)の選択

選択	BSSID	SSID	無線ch	電波	暗号化	無線モード
<input checked="" type="radio"/>	XXXXXXXXXXXX	Buffalo-G-XXXX	1	◎	○	n/g/b
<input type="radio"/>	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	6	◎	○	n/g/b
<input type="radio"/>	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	4	○	○	n/g/b

選択 再検索 設定中止

メモ: 同じ名称のSSIDが複数表示された場合は、BSSIDで判別してください。BSSIDは、通常は接続先機器のMACアドレスとなります。当社製親機の場合は、製品本体のラベルでご確認ください。

6 接続先の親機に設定されている認証方式、暗号化方式、暗号化キーを入力し、[設定] をクリックします。

SSID	Buffalo-G-XXXX	検索
認証方式	WPA2-PSK ▼	
暗号化	AES ▼	
WPA-PSK (事前共有キー)	<input type="text" value="●●●●●●●●"/>	

設定

7 [無線設定] - [基本] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b)	拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター
			WDS	マニュアルアプリ ログアウト

8 本製品のSSIDと暗号化キーに、任意の値を設定します。

メモ: 接続先の親機と同じSSIDと暗号化キーを本製品に設定すると、手動接続でもローミングを行うことができます。

以上で設定は完了です。

接続する端末を追加する場合

本製品に接続する端末を追加する場合は、それぞれの端末で上記手順6で設定したSSIDに接続してください。親機に接続する場合は、別途親機との接続設定を行ってください。

本製品の接続先を変更する

本製品の接続先を変更したい場合は、以下の手順に従ってください。

AOSS/WPSを使って接続先を変更する場合

本章の「AOSS/WPSでの設定手順」に従って接続設定を行ってください。

AOSS/WPSを使わずに（手動で）接続先を変更する場合

変更前の親機とAOSS接続していた場合は、一度AOSS設定を削除する必要があります。

- 1 [無線設定] - [AOSS] をクリックし、 をクリックしてAOSS設定を削除してください。
メモ: 変更前の親機とWPS接続または手動接続していた場合は、上記手順は不要です。
- 2 本章の「手動での設定手順」に従って接続設定を行ってください。

以上で設定は完了です。

節電機能を使って節電する

節電機能は、あらかじめ登録したスケジュールにしたがって本製品を省電力状態にすることで、消費電力を抑える機能です。設定は以下の手順で行います。

メモ:

- ・ 節電機能は、ランプ（通常動作/OFF）、有線ポート（通常動作/低速動作/OFF）の動作を切り替えることにより電力消費を抑えます。
- ・ 本製品の状態が切り替わる際、通信が一時的に切断されます。ユーザー定義で有線ポートを有効（または低速動作）に設定した場合でも通信は一時的に切断されますので、通信中の場合はご注意ください。

1 本章の「各種設定を行う前に」を参照して、本製品のIPアドレスやデフォルトゲートウェイなどを適切に設定します。

2 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

3 [管理設定] - [NTP] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス					
本体	パスワード	時刻	NTP	エコ	アクセス	ログ	保存/復元	マニュアル/アプリ	ログアウト
初期化/再起動	ファーム更新								

4 NTP機能に「使用する」、NTPサーバーに「ntp.jst.mfeed.ad.jp」と表示されていることを確認します。

NTP機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
NTPサーバー	ntp.jst.mfeed.ad.jp
確認時間	24 時間毎

設定

メモ:

- ・ NTP（Network Time Protocol）とは、正しい時刻に時計を修正・同期する仕組みです。任意のNTPサーバーを設定することもできますが、特に問題ない限りは初期設定（ntp.jst.mfeed.ad.jp）をご使用ください。
- ・ 節電機能の設定を行うには、NTP設定を有効にする必要があります。（出荷時設定では有効になっていません）

5 「エコ」をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス					
本体	パスワード	時刻	NTP	エコ	アクセス	ログ	保存/復元	マニュアル/アプリ	ログアウト
初期化/再起動	ファーム更新								

6 ユーザー定義モードを設定して、ページ下部の[設定] をクリックします。

ユーザー定義モード	ランプ	オフ
	有線ポート	エコ(低速動作)

設定

メモ:ここでは例として、以下のように設定します。

設定例:

ランプ - オフ

7 スケジュールを登録して [新規追加] をクリックします。

スケジュール登録	動作モード	ユーザー定義 ▼
	開始時間	0:00 ▼
	終了時間	6:00 ▼
	曜日	<input type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土

メモ: ここでは例として、以下のように設定します。

設定例:

動作モード - ユーザー定義

開始時間 - 0:00

終了時間 - 6:00

曜日 - 月、火、水、木、金

※本製品に登録できるスケジュールは1種類だけです。登録済みのスケジュールを変更したい場合は、新しいスケジュールで書き替えてください。

8 スケジュールを「使用する」にして、ページ上部の [設定] をクリックします。

スケジュール	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
--------	--

メモ: 節電機能を使用しない場合は、「使用する」のチェックを外してください。

以上で設定は完了です。

AOSS接続で設定された内容を確認する

本製品の設定画面を使って、AOSS接続で親機から引き継いだ設定（SSIDや暗号化設定）を確認することができます。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 [無線設定] - [AOSS] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス		
AOSS	基本(11n/g/b)	拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター	WDS	マニュアル/アプリ ログアウト

- 3 設定内容が表示されます。

現在のセキュリティー情報 802.11n/g/b

対応暗号化方式	WPAWPA2 mixedmode - PSK(AES) (現在使用中)
SSID	Buffalo-G-XXXX
暗号化キー	xxxxxxxxxxxx

対応暗号化方式	WEP128
SSID	Buffalo-G-XXXX_1
暗号化キー	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx (送信キー)
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

対応暗号化方式	WEP64
SSID	Buffalo-G-XXXX_2
暗号化キー	xxxxxxxx (送信キー)
	xxxxxxxx
	xxxxxxxx
	xxxxxxxx

ランダム KEYベース 元に戻す

設定

AOSS接続を解除する

ANY接続拒否設定やMACアクセス制限の設定を行うには、いったんAOSS接続を以下の手順で解除する必要があります。

AOSS接続を解除すると、本製品のSSIDや暗号化キーはAOSS接続を行う前の値に戻るとともに、本製品に無線接続していたすべての端末が本製品から切断されます。各端末の取扱説明書を参照して、再度本製品に接続してください。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 [無線設定] - [AOSS] をクリックします。



3 AOSS接続解除ボタンをクリックします。



AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル 802.11n/g/b

以上で設定は完了です。

他の無線機器から本製品を検索できなくする（ANY接続拒否設定）

本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽され、他の端末から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。

設定は、以下の手順で行います。

メモ:

- AOSSとANY接続拒否設定は同時に使用できません。以下の設定を行う前に、本章の「AOSS接続を解除する」を参照してあらかじめ設定を変更してください。
(以下の設定を行った後にAOSSを使って無線接続すると、ANY接続が「許可する」に設定変更されます)
- 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。

1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 [無線設定] - [基本] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b)	拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター
			WDS	マニュアル/アプリ ログアウト

3 ANY接続の「許可する」をクリックし、チェックマークを外して [設定] をクリックします。

無線チャンネル	自動 <input type="button" value="v"/> (現在のチャンネル: 9)
倍速モード	帯域: 20 MHz <input type="button" value="v"/>
	拡張チャンネル: チャンネル 4 <input type="button" value="v"/>
ANY接続	<input type="checkbox"/> 許可する

以上で設定は完了です。

アクセス可能な端末を制限する（MACアクセス制限）

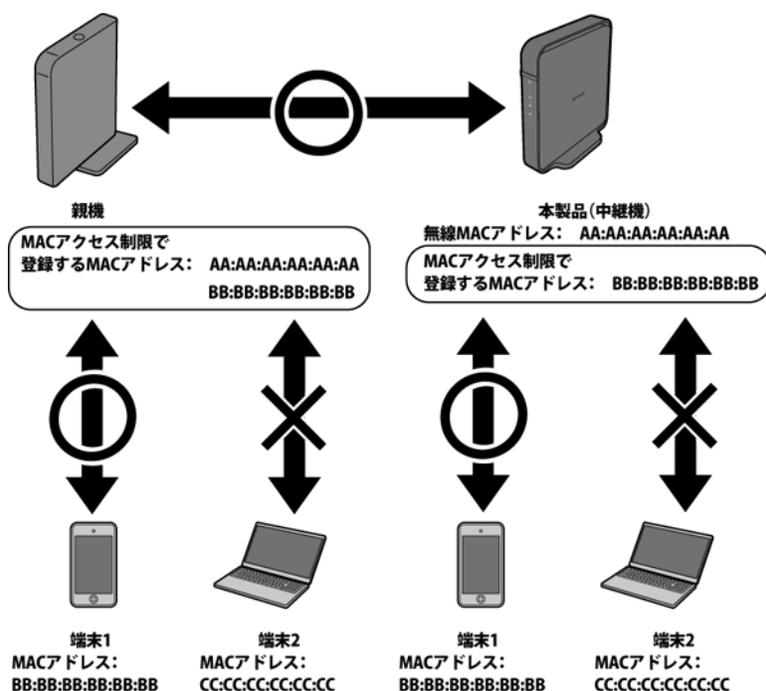
本製品に接続する端末のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その端末のみアクセスを許可することができます。

ここでは例として、以下の2つの設定を紹介します。

- ・ 親機側のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する場合
- ・ 親機—端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する場合

親機のMACアクセス制限設定を、本製品にも同様に適用する

親機に設定しているMACアクセス制限設定を、本製品にも同じように適用する設定です。設定は以下の手順で行います。



メモ: AOSSはMACアクセス制限設定と併用できないため、本製品と親機をAOSS接続している場合は、MACアクセス制限は使用できません。本章の「AOSS接続を解除する」を参照して本製品の設定を変更してください。

- 1 親機のMACアクセス制限設定で登録しているMACアドレスを確認します。
- 2 本章の「無線で通信できる範囲を拡張する（中継機設定）」を参照して、本製品を親機に接続します。

メモ:

- ・ 親機との接続は、必ず本製品の設定画面から行ってください。
- ・ AOSSはMACアクセス制限設定と併用できないため、WPSまたは手動設定で接続してください。
- ・ 事前に本製品の無線MACアドレスを親機側に登録しておいてください。

- 3 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

4 [無線設定] - [MACフィルター] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b) 拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター WDS	マニュアルアプリ ログアウト

5 [登録リストの編集] をクリックします。

登録リスト

MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	
登録リストの編集	

6 手順1で確認した、無線接続を許可する端末のMACアドレスを指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在無線接続されている端末のMACアドレスが表示されています。ここで接続を許可する端末のMACアドレスのみを [新規追加] をクリックして登録します。

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス	<input type="text"/>
新規追加	

登録リスト

MACアドレス	操作
MACアドレスが登録されていません	

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XX:XX:XX:XX:XX:XX	新規追加
現在の状態を表示	

「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない端末を登録する場合は、「登録するMACアドレス」欄に接続する端末のMACアドレスを入力し、[新規追加] をクリックします。MACアドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できるMACアドレスは64個までです。

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス	<input type="text" value="XX:XX:XX:XX:XX:XX"/>
新規追加	

7 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る] をクリックします。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
XX:XX:XX:XX:XX:XX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="情報削除"/>
XX:XX:XX:XX:XX:XX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="情報削除"/>
XX:XX:XX:XX:XX:XX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="情報削除"/>

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XX:XX:XX:XX:XX:XX	--

現在の状態を表示

- 8 「制限する」をクリックしてチェックマークをつけ、[設定] をクリックします。

無線パソコンの接続 制限する

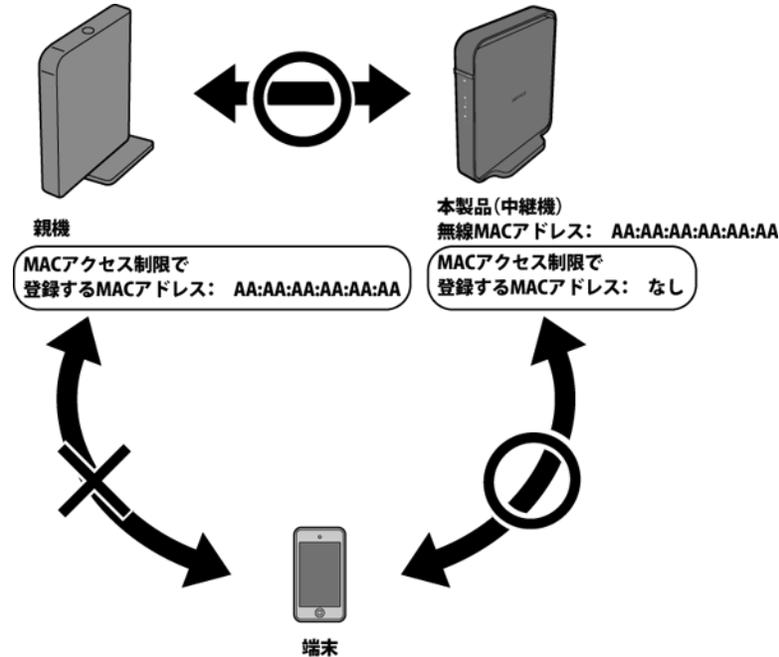
設定

- 9 「無線パソコンのMACアクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定] をクリックします。

以上で設定は完了です。

親機—端末間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する

親機に端末を直接接続することを禁止し、本製品を経由する場合のみ接続を許可する設定です。



この場合は、本製品を親機に接続して、本製品の無線MACアドレスを親機に登録すれば設定は完了です。

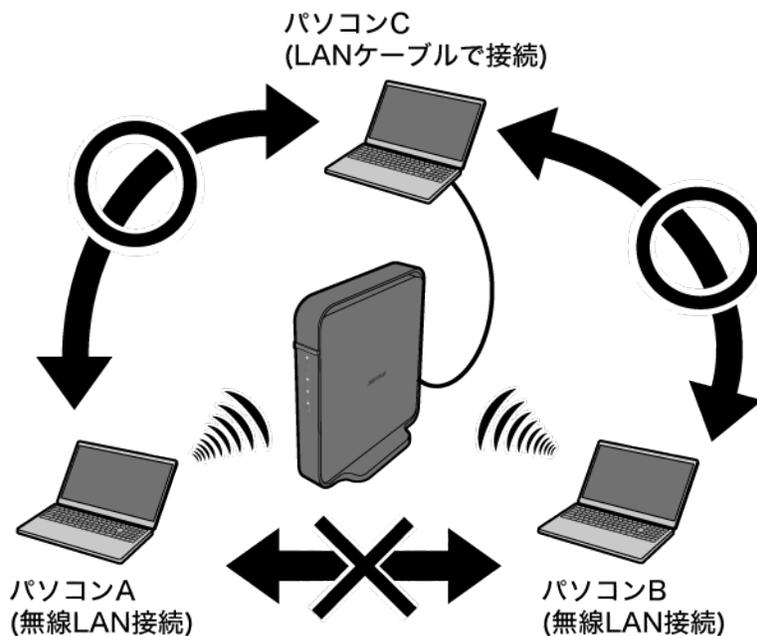
メモ:

- 本製品の無線MACアドレスを親機に登録した後、本製品を親機に接続してください。
- AOSSはMACアクセス制限設定と併用できないため、親機—本製品間をAOSS接続することはできません。親機が他の機器とAOSS接続をしている場合は、親機のAOSS接続を解除する必要があります。

無線端末同士の通信を禁止する（プライバシーセパレーター）

プライバシーセパレーター機能を使用すると、本製品に無線接続している端末同士のアクセス（共有フォルダーなどへのアクセス）を禁止することができます。

メモ: 本製品にLANケーブルを使って接続している端末がある場合は、プライバシーセパレーターを有効にしてもアクセスを禁止することはできません。例えば以下の図のような接続の場合、プライバシーセパレーターを有効にすることで、パソコンA-B間で共有フォルダーへのアクセスはできなくなりますが、パソコンA-C間やパソコンB-C間はアクセス可能となります。



メモ: 本製品を中継機としてご利用の場合、親機に接続された端末と本製品に有線および無線接続した端末との通信を禁止することはできません。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 [無線設定] - [拡張] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b) 拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター WDS	マニュアル/アプリ ログアウト

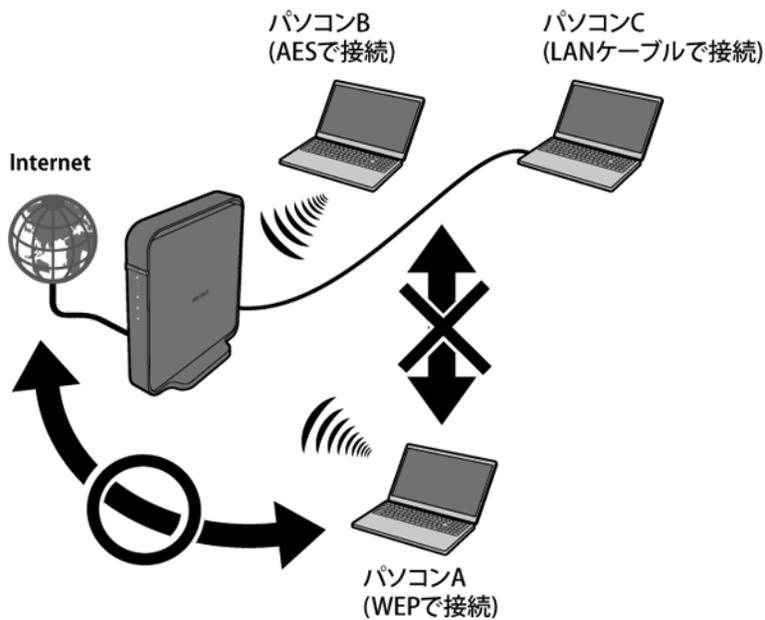
- 3 「プライバシーセパレーター」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークをつけ [設定] をクリックします。

Multicast Rate	1 Mbps ▼
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

以上で設定は完了です。

WEP 接続の端末からのアクセスを制限する（隔離機能）

WEPを使用して本製品に接続している端末を隔離し、インターネット側とだけにしか通信できないようにします。これにより、悪意あるユーザーによりWEPの暗号化キーが解読された場合でも、家庭内のネットワークに侵入されたり、本製品の設定画面にログインされるといった事態を防ぐことができます。



メモ: この機能を使用するには、本章の「各種設定を行う前に」を参照して、本製品のIPアドレスやデフォルトゲートウェイなどが適切に設定されている必要があります。IPアドレスやデフォルトゲートウェイが適切に設定されていないと、インターネットに接続できなくなります。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 [無線設定] - [AOSS] をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
AOSS	基本(11n/g/b) 拡張(11n/g/b)	WMM(11n/g/b)	MACフィルター WDS	マニュアル/アプリ ログアウト

- 3 「WEP専用SSID隔離」で「有効」を選択し、[設定] をクリックします。

AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11n/g/b 停止
WEP専用SSID隔離	802.11n/g/b 有効 本機能を有効にする場合は、デフォルトゲートウェイを設定してください。 *デフォルトゲートウェイを設定しないと、インターネット接続ができなくなりますので、ご注意ください。

以上で設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

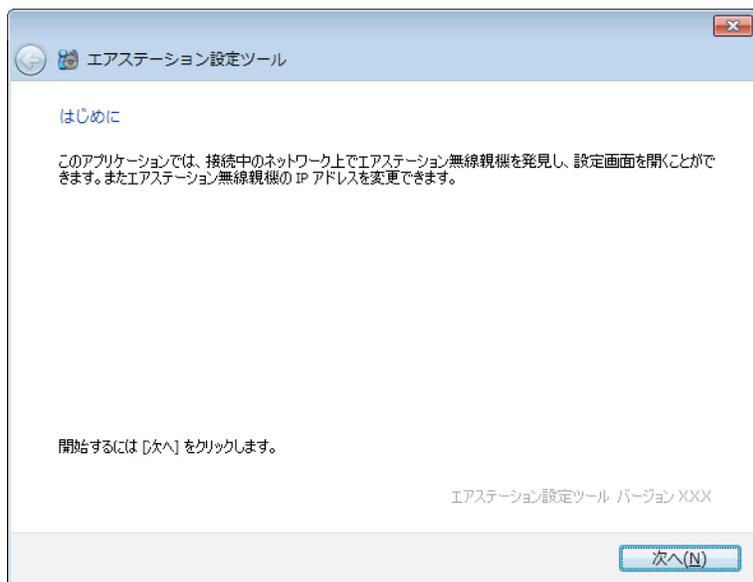
当社ホームページに掲載しているエアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更することができます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windows 8.1/8/7/Vista/XPをお使いの場合

メモ:

- エアステーション設定ツールがインストールされていない場合は、当社ホームページ（<http://d.buffalo.jp/wex-300>）からダウンロードして、インストールしてください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面からも変更できます。

- 1 エアステーション設定ツールを起動します。
（Windows 8.1/8の場合は、「スタート」画面にある [エアステーション設定ツール] を選択します。
Windows 7/Vista/XPの場合は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [BUFFALO] - [エアステーションユーティリティ] - [エアステーション設定ツール] を選択します）
- 2 [次へ] をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつかっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから [再実行] をクリックしてください。

- 3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ] をクリックします。



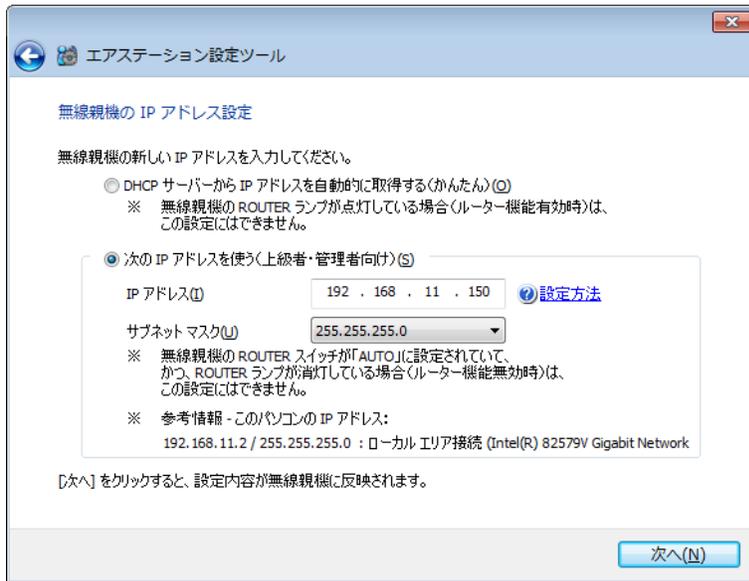
メモ: 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

- 4 [この無線親機のIPアドレスを設定する] をクリックします。



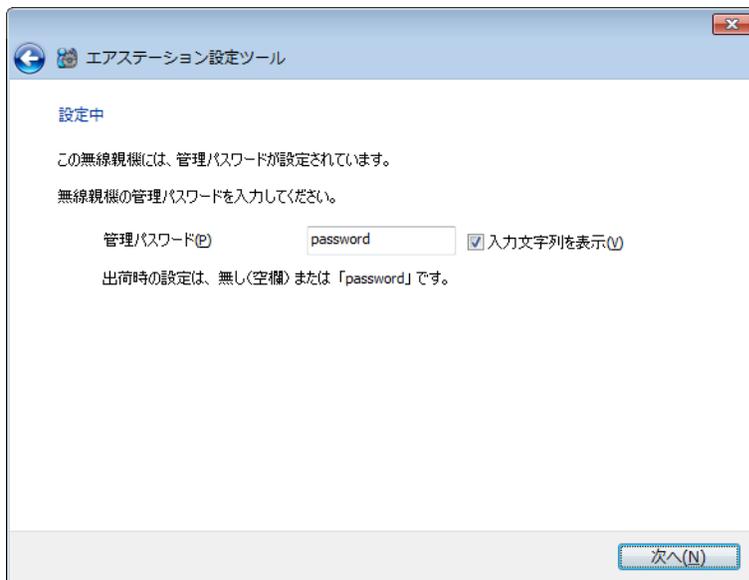
メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5 新しく設定するIPアドレスを入力して [次へ] をクリックします。

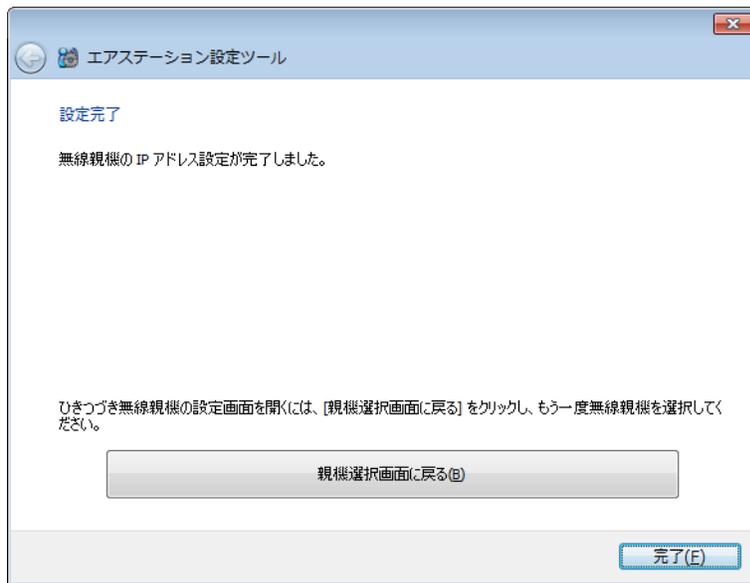


メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい] をクリックしてください。

6 本製品に設定されているパスワード（出荷時状態では「password」）を入力し、[次へ] をクリックします。



7 [完了] をクリックします。



以上で設定は完了です。

Mac OSをお使いの場合

ここでは、Mac OS 10.8の場合を例に説明します。

- 1 当社ホームページからダウンロードしたエアステーション設定ツールを実行します。
- 2 [続ける] をクリックします。



- 3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける] をクリックします。



メモ: 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する] をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して [続ける] をクリックします。



メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける] をクリックしてください。

- 6 本製品に設定されているパスワード（出荷時状態では「password」）を入力し、[続ける] をクリックします。



- 7 [終了] をクリックします。



以上で設定は完了です。

本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認できます。

- 1 第2章の「設定画面を表示する」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「ステータス」をクリックします。

TOP	LAN設定	無線設定	管理設定	ステータス
システム 診断	ログ	通信パケット	クライアントモニター	マニュアル/アプリ ログアウト

- 3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	WEX-300 Ver.X.XX(RX.XX/BX.XX)
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX

メモ: 製品名欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

第4章 困ったときは

前面のPOWER/DIAGランプが周期的に赤色に点滅している

2、3、4回周期の場合

いったん本製品のACアダプターを抜いて、再度挿してください。それから2分程度経っても同じような症状が見られる場合は、本製品の故障が考えられます。当社のサポートセンターまでご連絡ください。

連続点滅の場合

本製品の設定保存中やファームウェアの更新中はPOWER/DIAGランプが連続点滅します。異常ではありませんので、そのまま緑色に点灯するまで待つてからご使用ください。

無線接続が切れる/不安定

原因1 本製品や親機の動作が不安定になっている

本製品や親機への負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品または親機のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因2 本製品と親機、または本製品と無線端末との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 本製品または親機周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品や親機の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になる場合があります。

それらの機器を本製品や親機から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品や親機から遠ざけることができない場合は、親機の無線チャンネルを変更してください。

原因4 本製品または親機のファームウェアが古い

上記1～3の対策を行っても本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、本製品または親機のファームウェアを最新版に更新してください。

原因5 無線端末のドライバーが古い

上記1～4の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、無線接続している端末のドライバー（ソフトウェア）を最新版に更新してください。

原因6 親機が省電力モードで動作している

親機で節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

無線でつながらない

原因1 本製品や親機の動作が不安定になっている

本製品や親機への負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品または親機のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因2 本製品と親機、または本製品と無線機器との距離が遠い

本製品と親機または無線接続している端末との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。親機や本製品に無線接続している端末を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因3 セキュリティソフトが動作している

無線接続する端末にウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、無線接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティソフトを終了して、無線接続設定を完了させてからセキュリティソフトを起動してください。

原因4 無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。各端末の説明書を参照して接続してください。

原因5 本製品や親機にANY接続拒否やMACアクセス制限の設定がされている

本製品や親機にANY接続拒否の設定がされていると、端末から検索しても表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

本製品や親機にMACアクセス制限の設定がされていると、そのままでは無線接続できません。端末のMACアドレスを本製品または親機に登録してから無線接続してください。

原因6 親機が省電力モードで動作している

親機の節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因2 設定用端末が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする端末と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ: 無線での接続方法は、設定用端末の説明書を参照してください。

無線での通信が遅い

原因1 本製品や親機周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品や親機の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になり、通信速度が低下する場合があります。

それらの機器を本製品や親機から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品や親機から遠ざけることができない場合は、親機の無線チャンネルを変更してください。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、背面のRESETボタンを前面のPOWER/DIAGランプが赤色に点灯するまで（約3秒間）押し続けてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

第5章 付録

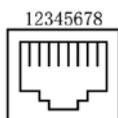
製品仕様

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T66 (IEEE 802.11g / IEEE 802.11b) (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調 (MIMO-OFDM) 方式 直交周波数分割多重変調 (OFDM) 方式 直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS) 方式 単信 (半二重)
周波数範囲 (中心周波数)	1~13 ch (2412~2472 MHz) 基本的に携帯電話、コードレスフォン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合や、電子レンジが動作している場合は、電波干渉によって通信障害が発生する可能性があります。
アクセス方式	インフラストラクチャーモード、WDSモード
セキュリティ	AOSS、WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (AES)、WPA/ WPA2 mixed PSK (AES)、WEP (128 bit / 64bit)、プライ バシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACフ ィルター
データ転送速度 (オートセンス)	IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI> : 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI> : 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI> : 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI> : 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) IEEE 802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11b : 11/5.5/2/1 Mbps
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3u (100BASE-TX) / IEEE 802.3 (10BASE-T)

データ転送速度	10/100 Mbps (自動認識)
データ伝送モード	半二重/全二重 (自動認識)
伝送路符号化方式	4B5B/MLT-3 (100BASE-TX) /マンチェスターコーディング (10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	100 BASE-TX / 10 BASE-T 兼用端子 (AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 50/60 Hz
消費電力	10.2 W (最大)
外形寸法	159 (H) x 131 (D) x 55 (W) mm (本体のみ)
重量	265 g (本体のみ)
動作環境	0 ~ 40 °C、10 ~ 85 % (結露しないこと)

LAN端子仕様

形状 (RJ-45型8極)



100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ (+) /送信データ (+)
2	RD-/TD-	受信データ (-) /送信データ (-)
3	TD+/RD+	送信データ (+) /受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ (-) /受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

メモ: ※AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定		
LAN	LAN側IPアドレス	192.168.11.210 (255.255.255.0)		
経路情報	経路情報	-		
AOSS	WEP専用SSIDの暗号化レベル	停止		
	WEP専用SSID隔離	無効		
基本	無線チャンネル	自動		
	倍速モード	20 MHz、拡張チャンネルは自動設定		
	ANY接続	許可する		
	SSID1	使用する		
	SSID2 : WEP	使用しない		
	隔離機能	使用しない		
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定		
	無線の認証	WPA2-PSK		
	無線の暗号化	AES		
	PSK (事前共有キー)	製品底面のラベルに記載の値		
	WEP暗号化キー設定	-		
	Key更新間隔	60分		
拡張	Multicast Rate	1 Mbps		
	DTIM Period	1		
	プライバシーセパレーター	使用しない		
WMM	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_BK (低い))		AP用	STA用
		CWmin	15	15
		CWmax	1023	1023
		AIFSN	7	7
	TXOP Limit	0	0	
	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_BE (普通))		AP用	STA用
		CWmin	15	15
		CWmax	63	1023
		AIFSN	3	3
	TXOP Limit	0	0	
	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_VI (優先))		AP用	STA用
		CWmin	7	7
		CWmax	15	15
		AIFSN	1	2
	TXOP Limit	94	94	
	WMM-EDCAパラメーター(優先度 AC_VO (最優先))		AP用	STA用
CWmin		3	3	
CWmax		7	7	
AIFSN		1	2	
TXOP Limit	47	47		
MACフィルター	無線パソコンの接続	制限しない		
	登録リスト	未登録		
本体	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス		

機能	パラメーター	出荷時設定
パスワード	管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
	管理パスワード	password
時刻	日付	2013年1月1日
	時刻	0時0分0秒
	タイムゾーン	(GMT + 09:00) 東京、大阪、ソウル
NTP	NTP機能	使用する
	NTPサーバー	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
エコ	スケジュール	使用しない
	スケジュール登録	動作モード 通常動作 開始時間 0:00 終了時間 0:30
	ユーザー定義モード	ランプ オフ 有線LAN エコ (低速動作)
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	無線LANからの設定を禁止する 無効 有線LANからの設定を禁止する 無効
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	—
	転送するログ情報	IPフィルター、DHCPクライアント、AOSS、無線LAN子機、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク
ファーム更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄

Windows 8.1/8の場合

- 1** コントロールパネルを表示します。
(パソコンの場合は、画面左下を右クリックし、[コントロールパネル] を選択します。タブレットでは、画面右端を左にスワイプし [検索] をタップした後、[コントロールパネル] を選択します)
- 2** ネットワーク接続の画面を表示します。
(ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)
- 3** 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックしてください。
- 4** 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 5** 以下のように設定して、[OK] をクリックします。
 - ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - ・ IPアドレス「192.168.11.135」
 - ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
 - ・ デフォルトゲートウェイは空欄
 - ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄
メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。
- 6** [OK] をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows 7の場合

- 1** コントロールパネルを表示します。
([スタート] - [コントロールパネル] を選択します)
- 2** ネットワーク接続の画面を表示します。
(ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)
- 3** 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックしてください。
- 4** 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) 」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 5** 以下のように設定して、[OK] をクリックします。
 - ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - ・ IPアドレス「192.168.11.135」
 - ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
 - ・ デフォルトゲートウェイは空欄
 - ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄
メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。
- 6** [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows Vistaの場合

- 1** コントロールパネルを表示します。
([スタート] - [コントロールパネル] を選択します)
- 2** ネットワーク接続の画面を表示します。
(ネットワークと共有センターの「ネットワーク接続の管理」をクリックします)
- 3** 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
メモ: 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックしてください。
- 4** 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 5** 以下のように設定して、[OK] をクリックします。
 - ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - ・ IPアドレス「192.168.11.135」
 - ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
 - ・ デフォルトゲートウェイは空欄
 - ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。
- 6** [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows XPの場合

- 1** コントロールパネルを表示します。
([スタート] - [コントロールパネル] を選択します)
 - 2** ネットワーク接続の画面を表示します。
(ネットワークとインターネット接続の「ネットワーク接続」をクリックします)
 - 3** 無線接続の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」を、LANケーブルで接続の場合は「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
 - 4** 「インターネットプロトコル (TCP/IP) 」を選択し、[プロパティ] をクリックします。
 - 5** 以下のように設定して、[OK] をクリックします。
 - ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - ・ IPアドレス「192.168.11.135」
 - ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
 - ・ デフォルトゲートウェイは空欄
 - ・ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄
- メモ: 設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。
- 6** [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OSの場合

メモ: Mac 10.8を例に説明します。

- 1** システム環境設定を表示します。
- 2** ネットワークをクリックします。
- 3** 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「Ethernet」を選択します。
- 4** IPv4の構成で「手入力」を選択します。
- 5** 以下のように設定して、「適用」をクリックします。
 - ・ 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - ・ IPアドレス「192.168.11.135」
 - ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
 - ・ ルーターは空欄

メモ: 設定を元に戻す場合は、IPv4の構成で「DHCPサーバを使用」を選択して、「適用」をクリックしてください。

以上で設定は完了です。

著作権・免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。